



2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年2月14日

上場会社名 太洋物産株式会社 上場取引所 東
コード番号 9941 URL <https://www.taiyo-bussan.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松島 伸介
問合せ先責任者 (役職名) 総務部 部長 (氏名) 井坂 勇登 TEL 03-5946-8000
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第1四半期の業績 (2024年10月1日～2024年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	5,891	33.3	52	△18.7	42	△13.9	36	△8.5
2024年9月期第1四半期	4,417	△10.5	64	223.9	49	—	39	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	18.73	18.07
2024年9月期第1四半期	20.48	19.85

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期第1四半期	7,975	898	11.0	453.84
2024年9月期	7,990	802	9.7	404.71

(参考) 自己資本 2025年9月期第1四半期 877百万円 2024年9月期 782百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	—	—	—	—
2025年9月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の業績予想 (2024年10月1日～2025年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,849	21.8	295	10.7	254	25.5	201	23.4	103.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年9月期1Q	1,934,019株	2024年9月期	1,934,019株
2025年9月期1Q	789株	2024年9月期	789株
2025年9月期1Q	1,933,230株	2024年9月期1Q	1,933,266株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5

1. 経営成績の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、緩やかな回復基調に向かう一方、不安定な国際情勢による地政学リスク、輸入コスト及びエネルギーコストの継続した上昇による消費の減速など、消費マインドの見通しは足踏み状態が続いております。このように先行きが見えない状況の中、当第1四半期累計期間末を迎えました。

このような環境の下、当社の主要事業である食肉関連においては、外食産業を中心とした牛肉・鶏肉の原料販売については、需要は回復基調にあるものの原料価格の上昇や輸送コストの上昇により利益を確保することが難しい状況となっており、売上高・取扱数量は横ばい状況にあります。しかしながら、加工食品については、付加価値のついた新規アイテムの成約や、利益率の高い商材の販売、外食産業の海外出店に向けた販売を増加させることができました。

次に農産品では、新規契約の取引が進めており、売上高・取扱数量ともに増加となりました。中国関連の取引においては、中国向けの輸出取引・三国間取引を中心に売上高・取扱数量ともに増加となりました。輸入豚肉に関しては、供給過多による在庫過剰感が続いておりますが、前年同四半期比では売上高・取扱数量ともに増加となりました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は58億91百万円(前年同四半期累計期間比33.3%増)、営業利益52百万円(前年同四半期累計期間比18.7%減)、経常利益42百万円(前年同四半期累計期間比13.9%減)、四半期純利益36百万円(前年同四半期累計期間比8.5%減)となりました。

セグメントごとの経営成績の概況は次のとおりであります。

(食料部)

牛肉については、外食産業への販売をメインとしておりますが、現地価格・原材料高の影響により、利益の高い新規アイテムの成約等もあったものの、売上高・取扱数量ともに減少となりました。

鶏肉については、利益率の高い商品・取引を成約することができた結果、売上高・取扱数量ともに増加となりました。国産鶏肉については、利益率の高い部位の成約及び新規取引先の開拓を積み上げた結果、売上高・取扱数量ともに大幅に増加いたしました。タイ産加工食品は、海外の生産・輸送体制も回復し、引続き新規商材の提案による利益率の高い商材の販売が成約した結果、売上高・取扱数量ともに増加となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、21億51百万円(前年同四半期累計期間比20.5%増)、セグメント利益は、49百万円(前年同四半期累計期間比0.0%減)となりました。

(営業開拓部)

農産品については、大豆等の産地価格の高騰等により厳しい環境にありますが、新規契約による利益率の高い商品の販売を進めており、前年同期四半期比では増加となりました。

化学品については、価格競争や為替相場の変動により商品を確保が難しい状況が続いており、取引量を伸ばすことができませんでした。

中国関連については、中国での美容や健康への需要の増加に伴い、中国のネット事業者向け商材の販売が順調に推移し、売上高・取扱数量が増加となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、30億52百万円(前年同四半期累計期間比22.7%増)、セグメント利益は、53百万円(前年同四半期累計期間比2.3%増)となりました。

(生活産業部)

輸入豚肉については、前事業年度に続き、供給過多による在庫過剰、価格及び輸送コストの上昇が継続しております。さらに、需要が予想に反して減少しており、価格上昇に市場が追いついていない状況が続いております。しかしながら、利益率の高い取引が成約できた結果、当第1四半期累計期間においては、売上高・取扱数量ともに大幅な増加となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、6億87百万円(前年同四半期累計期間比372.4%増)となりました。セグメント利益は、4百万円(前年同四半期累計期間比623.8%増)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期累計期間末の資産につきましては、売掛債権が増加したものの、商品の減少に伴い、前事業年度末に比べ15百万円減少し、79億75百万円となりました。

負債につきましては、主に仕入債務の減少等により前事業年度末に比べ1億11百万円減少し、70億77百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益の計上及び繰延ヘッジ損益の増加により前事業年度末に比べ95百万円増加し、8億98百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年11月14日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	346,864	400,998
受取手形及び売掛金	4,944,818	5,418,017
電子記録債権	11,733	11,733
商品	1,912,169	1,311,670
その他	166,419	225,513
流動資産合計	7,382,006	7,367,932
固定資産		
有形固定資産	216,622	214,770
無形固定資産	17,635	17,625
投資その他の資産	374,561	375,222
固定資産合計	608,819	607,618
資産合計	7,990,825	7,975,551
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,388,771	1,276,350
短期借入金	5,414,699	5,414,699
未払費用	152,465	167,975
その他	89,372	66,602
流動負債合計	7,045,309	6,925,628
固定負債		
退職給付引当金	107,375	108,762
その他	35,484	42,893
固定負債合計	142,860	151,656
負債合計	7,188,169	7,077,284
純資産の部		
株主資本		
資本金	257,792	257,792
資本剰余金	157,792	157,792
利益剰余金	409,713	445,925
自己株式	△1,004	△1,004
株主資本合計	824,293	860,506
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△41,895	16,872
評価・換算差額等合計	△41,895	16,872
新株予約権	20,258	20,887
純資産合計	802,656	898,266
負債純資産合計	7,990,825	7,975,551

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	4,417,991	5,891,597
売上原価	4,222,515	5,691,718
売上総利益	195,475	199,878
販売費及び一般管理費	130,977	147,473
営業利益	64,498	52,404
営業外収益		
受取賃貸料	3,369	3,159
為替差益	—	4,727
その他	103	319
営業外収益合計	3,472	8,206
営業外費用		
支払利息	13,790	15,583
為替差損	2,234	—
その他	2,333	2,343
営業外費用合計	18,358	17,926
経常利益	49,613	42,684
税引前四半期純利益	49,613	42,684
法人税、住民税及び事業税	10,067	6,894
法人税等還付税額	—	△385
法人税等調整額	△50	△36
法人税等合計	10,017	6,472
四半期純利益	39,595	36,212

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,855千円	1,851千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自 2023年10月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額 (注) 2
	食料部	営業開拓部	生活産業部	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,784,766	2,487,708	145,515	4,417,991	—	4,417,991
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,784,766	2,487,708	145,515	4,417,991	—	4,417,991
セグメント利益	49,715	52,600	582	102,899	△38,400	64,498

(注) 1. セグメント利益の調整額△38,400千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間（自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額 (注) 2
	食料部	営業開拓部	生活産業部	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,151,138	3,052,995	687,463	5,891,597	—	5,891,597
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,151,138	3,052,995	687,463	5,891,597	—	5,891,597
セグメント利益	49,708	53,862	4,216	107,786	△55,382	52,404

(注) 1. セグメント利益の調整額△55,382千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。